第 97 号　2019 年 4 月発行

チャレンジ工房news

発行先　パソコン工房チャレンジ
編集責任者　　曲　圭子

工房の日々　～　所員さんへ　私からのメッセージ　～

4 月になり、寒暖差の変化が激しい毎日が続いていますが皆様、いかがお過ごしでしょうか。

早いもので、「平成」の時代も残り僅かになりました。

新しい年号の「令和」の「和」の意味に込められているように地震や台風、集中豪雨による水害等の自然災害や相模原事件のような「障害者差別」による凶悪な犯罪が起きることはない「平和」で「和やかな時代」であってほしいと願うばかりです。

年配の所員さんの中には、「令和」に関する新聞記事を切り取ったり、「令和」についてインターネットとかで調べたことを Word 文書に丁寧に記録されておられる方もいます。

今若い世代の所員さん３名が一般企業などの就職の面接試験を見据えて、Word や Excel の MOS 試験対策の勉強を頑張ってされています。

今後の予定

4/27(土)～5/6(祝)

ゴールデンウィーク休暇

※上記の 10 日間、所員・スタッフの心身とものリフレッシュを図るため、ゴールデンウィーク休暇を頂きます。

※休み明けは、5/7(火)から開所します。

ＭＯＳ試験は、マイクロソフト社の世界どこでも通用する試験で、持っておくと就職の面接時にかなり有効な資格の１つなのですが、試験の内容的に、基礎・応用のテキストでの研修内容はもちろん、「ツールバーやリボンのカスタマイズの方法」などの応用のテキスト以上の知識や技術が問われたり、約 50 分の試験時間内(上肢に障害がある場合、医師の診断書を提出することにより、試験時間を 2 倍にしてもらうことができます)に 45 問～50 問程度、解答しないといけない難関な資格試験です。

ＭＯＳ試験は、Word・Excel の操作の正確性や応用力が問われる試験なので、基礎・応用のテキストや試験対策テキストを暗記したり、やりぱっなしにせず、分からなかったところや理解できてないところは、ノートを作って、自分が理解できるように操作手順を書くようにするなどの工夫をしてください。(模擬試験の問題と似た問題がそっくり出題されるとは限らないので…)

工房や自宅のパソコンで、模擬試験を繰り返しやり回数を重ねていくことに、少しずつでも合格ラインの点数に近づけて、モチベーションをもつことや試験の傾向もつかむことも大事なのですが「こんな問題が出題されたら、どこのツールのどこのボタンクリックする」などある程度、反射的に操作できるまで体を使って覚えとくと試験本番でも、あせることなく、一つひとつ問題に正確に対応できるのではと私は思っています。

ノートの作り方、勉強方法、分からないパソコン用語や使ったことがない機能に出くわしたときは、私たちスタッフにどんどん質問して下さい。

これからもスタッフ３人で個々の所員さんの目標が達成できるように、サポートしていきたく考えています。

お花見をしました・・・

４月１日に、年度初めの恒例行事の水明公園での「花見会」をしました。

今回、「花見会」を企画して準備をするスタッフが私だけしかいなかったので、天ぷら、お寿司などの買い出しや当日の場所取り、準備は所員さんやお母さんたちに協力して貰って、何とか例年通りの「花見会」を催すことができ感謝の気持ちでいっぱいです。

ニュース等の報道により、今年の桜の開花は例年よりも早いと聞いていたこともより、ちょうど１日付で、新しく工房に入って来られた所員さんもスタッフもいたので、歓迎会も兼ねてできたらと思い、１日に企画したのですが、桜も三分咲き程度で気温も低くかったので、「花冷え」の中での花見会になってしまいました。

それにも関わらず、私が日頃お世話になっているヘルパー事業所のサフランのお仲間やお母さんたちにも参加してもらうことができました。

途中、小雨がぱらつき始めたのですが、それを吹き飛ばすように代表理事やサフランの仲間たちの「生の歌」の歌のサプライズがあったり、景品を賭けた「ビンゴゲーム」があったりで、いっもと変わった楽しい時間を過ごすことができました。

来年は是非、青々とした晴天の日に満開の桜の下で１０周年の記念の花見会をできればと思っています。

スタッフ・所員によるリレーコラム

今回のスタッフと所員のリレーコラムは、昨年の 12 月に実家がある千葉から一人で尼崎に引っ越して来られて、1 月から当工房に入所され、今は MOS などの資格取得をめざしてほぼ毎日、朝から夕方まで頑張っているＫさんに「工房に通うきっかけ」などを書いて貰いました。

住み慣れた実家、通い慣れた作業所から離れ「新しい事にチャレンジしたい」「何か 1 つでも自信になるような事がしたい」「もっと色んな事が知りたい」そういう気持ちが強くなった 2、３年前から私は月に１度、大阪や尼崎市に遊びに来ていました。

特に尼崎市はバスに乗れば大体の場所は行けるし駅付近にはショッピングモールとかあって行きやすいな～思い「ここに住みたい」と思うように。

でもここに住む為には目的がないといけなかったので実家に帰り、インターネットで調べて目的や作業所などのホームページを見ていました。

見つけては見学をしたりと繰り返していましたが「実家にいた時の作業所と同じだなぁ」と「自分は何がしたいのか…」いくつかのホームページを見てる中で『チャレンジ工房』というのを見つけました。

実際に見学をして「ここなら自分のペースで学べる」と、ここに決めました。

勉強して色んな経験をしていこうと思います。